

情報かわら版



川崎市立小学校情報教育研究会
会長 岩田昭彦(宿河原小学校)
平成29年7月 第3号
担当 橘小学校 佐藤 譲

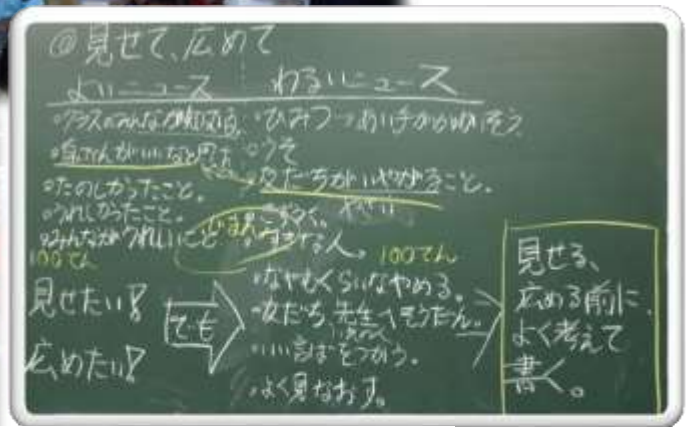
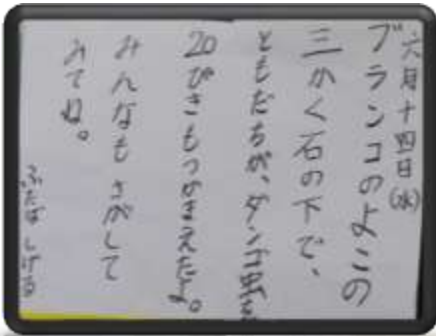
情報研おすすめイベントはこちらのQRコードからぜひ!

第1回授業研究会「子ども版ふたば」でより良い学年にしよう

平成29年7月5日(水)、川崎市立三田小学校にて第1回授業研究会が行われました。授業者は、平野智久先生、2年生学級活動「公共物をみんなが安心して使うためには、どんなことを大事にしたら良いかな」の学習でした。

この題材は、新指導要領の中に明記されている情報活用能力の中でも、情報モラルを育む手立てについて扱ったものです。小学生低学年の段階から、情報モラルが身につく学習を系統立て、継続的に行っていくことで、ネットでもトラブルを未然に防ぎたいという平野先生の熱い思いが込められた授業となりました。明るく元気で、素直な2年生の子どもたちが、身近であり、公共性のある掲示板の扱いについて考える活動でした。平野先生の出された具体的な事例を通して、子どもたちのさまざまな意見が出される中で、前向きに掲示板を活用していきたいという発言がたくさん聞かれました。掲示板の話題を通してその背景にあるインターネットとの関連を意識してその特性について気づき、情報モラルの合言葉『インターネット「のひみつ」』※の中でも記録性と流出性についてこの題材を通して考えることができました。

※記録性「**の**こる」流出性「**ひ**ろまる」公開性「**み**せる」非対面性「**つ**たわりにくい」即時性「**つ**ながる」



研究協議会では、4つのグループに分かれ、Yチャートを用いて授業を参観して感じたことについて話し合いを行いました。各グループでは、平野先生の日常の取り組みや、子どもたちの願いや思いから単元を開発されていること、子どもたちがより自分事として捉えるための工夫や手立てなどについて話し合いました。2年生の段階としては、情報モラルについて考える「視点」を持たせることが大切との意見も出されました。後半では、グループで話し合われたことをファシリテーターの先生がわかりやすく報告を行いました。

講師の情報・視聴覚センター 椎名美由紀指導主事からは、情報モラルの現指導要領と新指導要領の中での意味や位置付けの違いについてお話をいただきました。情報モラルについては、情報社会で適正な活動ができる子どもたちを育てることが大切で、そのためには日常モラルと情報技術の仕組みを併せて理解させることによって、情報化社会の中で、子どもたちの生きる力が育まれていくとの助言をいただきました。



夏季研修会のお知らせ 7月24日(月)稲田小学校にて

●情報・視聴覚センター共催研修 (ICT活用研修) 7月24日(月)稲田小学校 9:30~

ICTや様々な思考ツールを活用しながら、情報活用能力を育成する授業作りを行います。また、実践事例の紹介、実技研修などを通してICTの活用の仕方も身につけることができます。みなさんのご参加お待ちしております。